



定期代議員総会

去る5月31日いわて県民情報交流センターにおいて、平成25年度岩手県学校保健会養護教諭部会定期代議員総会が開催されました。来賓として、岩手県教育委員会事務局スポーツ健康課主任指導主事兼主任保健体育主事の入駒一美様にご臨席を賜りました。

福士典子会長は、挨拶の中で『平成24年度は、会員や多くの関係機関との連携・絆を強く感じた一年でした。先ず、自らも被災されながらも子どもたちへの支援に奮闘される中、原稿やご意見をお寄せくださった皆様や東日本大震災支援対策委員会の方々のご尽力により「東日本大震災にかかわる養護教諭の実践報告集」を編集し発行することができました。次に、第36回岩手県養護教諭研究大会では、岩手県立大学看護学部講師の堀籠ちづ子先生をお迎えして学びを深め、准教授の井上和之先生により、第6回実践研究に関する研修会を開催することができました。さらに、会員の連

携や交流を深めることを目的とする本会のホームページも立ち上げることができました。会員の皆様やご指導、ご支援いただいた皆様に厚く感謝申し上げます。最後に、これからの部会活動の充実につながる視点の一つとして、震災の体験を共有し、寄り添いながら、未来へ活かすことが重要ではないかと考えております。支援する側される側の関係からさらに発展し、共に未来を創る仲間として、会員同士が深い絆で結ばれていく活動を共に創りあげていきましょう。』と述べられました。協議の中では、改めて岩手の仲間の養護活動と本会の活動の価値を実感する「東日本大震災にかかわる養護教諭の実践報告集」への、全国からの反響について報告がありました。以下、富山県養護教諭部会からのメッセージをご紹介します。『岩手県の先生方には、ご心痛が癒えない中、そして大変な状況の中に、このような記録を使命感をもつてまとめてくださったことに心から敬意と感謝を申し上げます。冒頭の短歌に涙し、記録写真に涙し、その後の各地域の先生方の取り組みに感動し、養護教諭の素晴らしさに同じ仲間としての誇りを感じ、読み進むうちに、体の震えを体感し今なお止みません。スイセン日記やワイルドフラワー日記に、かすかな復興が進むことを切に願ってやみません。富山県は、がれきの受け入れを巡って、山田町とはご縁がございます。報告書を本県全会員で共有し、命と心の尊厳を忘れることなく、尊い養護教諭の仲間の姿を誇りに思い、東北を岩手を忘れることなく過ごしていきたいものと思っております。岩手の皆様のお姿を誇りに思い、涙している仲間がいることをお伝えしお礼したいと思います。』

【歴史を紐解く】
明治38年、岐阜県の小学校で学校看護婦が採用されました。教員の補助的仕事と見なされていたことから先輩方が職制運動をし、昭和16年教育職員としての位置づけになったのです。
平成17年に栄養教諭が誕生しました。凄く勢いで配置の動きがあります。かつての養護教諭のようだと思います。栄養教諭の先生方は地位獲得のために、もの凄く研修をしています。また、色々な所でアピールをしています。そういう姿を見る度に、もしかしたら、私たち養護教諭は七十有余年という歴史を過ごしてきた、パイオニア精神が段々と薄れているのではないかと感じています。現在、現在の職に就いて感じています。
【ギャップに悩まませんか】
皆さんは、日常の多忙化や、養成で学んだことと現場のギャップの大きさに悩むことが多いと思います。先生方の実践を認めてくれて、自信を持つて仕事を見える形にしていきたいでしょう。
【今の実践が次世代に繋がる】
平成21年1月の中教審答申は、私たち養護教諭にとって大きな意味付けとなりました。学校保健の中核的役割を担う責務があることが明言され、役割も5項目に明確化されました。これを受け50年ぶりに学校保健法から学校保健安全法に改正されました。どうい

うか
【養護教諭として】
○養護教諭と児童生徒の持つ保健室のイメージが一致していますか。やったことだけに満足せず、やったことで児童生徒が、どう変わったかというように思いを馳せていますか。
○赴任した際、最初に何をしますか。子どもを命を守るという観点を大切にしたいです。
○養護教諭という「職」について一般の方に説明できますか。プロとして「職」を意識して仕事をしていますか。
○自分の学校の健康課題は何ですか。健康課題を解決するためには、どういう作戦を立てて、どう解決していくかと計画・実行していますか。
○健康課題を3分で説明することができますか。実際には無理かもしれませんが、まとめる訓練をしておくことが大切です。

【実際の職務において】
学校という所は人間と人間がぶつかり合い切磋琢磨して成長していくところ。見る、聴く、話す、関わる、繋がる事を大事にしていきたいです。
そして、何よりも自分が元気であること、元気に見せることが大切です。子どもたちが保健室に来たときに、元気な太陽のような、または月のような何らかの光を注いであげられるような養護教諭でいてほしいと思います。



岩手県教育委員会事務局スポーツ健康課主任指導主事兼主任保健体育主事 入駒 一美氏

講演 「これからの養護教諭に求められるもの」